

一般質問通告書(平成 26 年 6 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p><b>1 3 番 村上 和子</b></p> <p>1 子どもの医療費助成の対象範囲を中学生までに拡大しては (町 長)</p> <p>2 自主防災組織制度の改正と防災に耐えるライフラインの基本的な整備を (町 長)</p> <p>3 各学校の図書室に専任の司書配置を (教育長)</p> <p>4 放課後プラン事業として、放課後クラブ・放課後スクール・みんなで遊ぼう教室などの一元化と見直しを (教育長)</p>	<p>子育て世帯の医療費の負担が家計に重くのしかかっている。町は独自の支援策として就学前児童の医療費全額を助成しているが、国の動向を見極めてから今後検討するという答弁をいただいている。国は子育て支援や介護支援などの社会保障部門に充てるために4月から消費税を3%アップした。市町村に対する交付税なども今までとは違う状況となり、子育て世代の経済的負担の軽減のためにも、子どもの医療費の助成を中学生まで拡大してはどうか。</p> <p>住民会ごとに2名の防災士資格取得者を配置したが、これらに対する補助制度が26年度で終了する。これまでの課題と27年度以降に自主防災組織のための制度改正はどのように考えているのか。また、ライフラインの根幹である水道事業も給水機能を確保するためには事故や災害に強いシステムの構築が必要ではないか。</p> <p>学校図書館法に基づき、司書教諭の配置が義務付けられているが、町内の学校図書室には専任の司書が配置されていない。学校司書を配置し、子ども達の読書活動の充実に向け取り組むべきと考えるが、教育長の見解を伺う。</p> <p>すべての子どもが安全で安心して過ごすことができる居場所づくりとして放課後事業プランが始まり、それぞれ留守家庭の子ども達が安全で安心して放課後を過ごしている。しかし、放課後スクールの利用児童が100名を超え、その中には特別支援教育を受けている児童も含まれ、18名の指導者では不足の状況にある。目配りや気配りなど、大変な負担となっているため、指導員の補充と今後、この3つの事業を一元化するなど抜本的な見直しを図ってはどうか。</p>
<p><b>2 4 番 米沢 義英</b></p> <p>1 介護保険計画について (町 長)</p>	<p>来年度から介護保険制度が改正され、各自治体においても介護保険計画の策定が求められているが、次の点について伺う。</p> <p>1、要支援1、2の訪問・通所介護を地域支援事業に移行しようとしており、その受け皿としてボランティア、NPO法人などを活用するとしているが、町の体制について伺いたい。また、専門職の支援が受けられなくなることの弊害はないのか伺いたい。</p> <p>2、要支援者は何らかの疾病を抱えていると考えるが、現状を伺いたい。</p> <p>3、高齢化が進む中で安心して入所できる施設の整備が必要であり、特別養護老人ホームの増床やグループホームの新設が必要と考えるが、今後の対応について伺いたい。</p>

	<p>4、改正案の中で特養の入所者の原則は要介護 3 以上となっているが、要介護 1、2 の方の入所が困難になるのではないか。</p> <p>5、介護保険料の見込み額について伺いたい。</p>
<p>2 子どもの医療費無料化について (町 長)</p>	<p>人口の減少が地域の活力をも奪いつつあることが問題になってきている。本町においても人口の流出を少しでも抑制する施策が強く求められている。</p> <p>特に、若い世代が定住できる環境づくりは必要だと考える。上富良野町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果の中にも、子どもの医療費の無料化を求める声が多くある。</p> <p>町はこの間、子どもの医療費の無料化拡大については総合的に判断して検討したいと曖昧な答弁をしているが、どのように検討しているのか伺いたい。</p> <p>子育て世代を支援するためにも医療費の無料化を当面は最低でも小学校、次に中学校へと拡大すべきと考えるがどうか。</p>
<p>3 除雪サービスについて (町 長)</p>	<p>除雪サービスは町民税非課税世帯で障がい者、高齢者世帯を対象に実施され、玄関から道路に出る間の通路が対象であり、家の周りや屋根の雪下ろしは対象外となるため改善を求める要望も出てきている。対応について伺いたい。</p>
<p>4 定住化対策について (町 長)</p>	<p>本町においても産業構造の変化などで人口の流出が今後とも予想される。</p> <p>今、各自治体では人口の流出を少しでも抑えようと若い世代への定住化を促す支援策が実施されている。本町においても若い世代が住宅を購入する際に、その一部を助成するなどの制度を設け、定住化を促す具体的な誘導策が必要と考えるが、対応について伺いたい。</p>
<p>5 いじめ予防対策について (教育長)</p>	<p>1、各自治体でいじめ防止に関する条例が制定されてきている。町の教育委員会においてもいじめ防止に関する条例を制定されようとしており、その骨格について伺いたい。</p> <p>2、弁護士によるいじめ予防授業が各地で広がりを見せている。「いじめる側が悪いのか?」「許されるいじめがあるのか?」と子ども達に問いかけるもので、人権をわかりやすく語るいじめ予防授業となっている。これですべてが予防できるものではないが、本町においても検討してはどうか。</p>
<p>6 社会教育総合センターの整備について (教育長)</p>	<p>高齢者の方も多数利用しているが、和式のトイレに対して洋式のトイレが少なく、改善を求める声がある。今後の対策について伺いたい。</p>

<p><b>3 5番 金子 益三</b> 1 町内一斉クリーンキャンペーンの日 制定について  (町 長)</p>	<p>本町において、観光シーズンが始まる前に来町者やこの地域を訪れる観光客をはじめとした様々な方への、おもてなしの一環として現在シーニックバイウェイ大雪・富良野ルートが声掛けをして国道を中心としたゴミ拾いを行って10年が経過している。</p> <p>この間、様々な町内の団体が参加し、行政も手伝いを行い、参加団体は今年度20団体、延べ参加人数も150名を超える大変大きな事業になっている。スタート当初は国道のゴミ拾いから始まったが、</p>
	<p>近年は道道さらに町道といった部分まで参加団体による拡充が行われている状況である。</p> <p>そこで、この事業をさらに効果的に行うためにも町全体の事業として行政がテコ入れをして「上富良野町クリーンDAY」(仮称)を制定して住民会、町内会、老人会、子供会等と連携を図り、観光シーズンが始まる前の時期などに併せて町内全域の清掃活動を行う日を制定することが望ましいと考えるがいかがか。</p>
<p>2 超高速ブロードバンド通信網整備 のさらなる活用について  (町 長)</p>	<p>今年度予算化された郡部エリアの超高速ブロードバンド無線事業の整備にあたり、伝搬調査を終えて光ファイバーの工事が業者のサービスで行われないエリアのカバーとして無線によるサービスの提供を町独自の一般財源を用いて行うことが予定されている。事業規模も非常に大きく、その費用対効果をより明確にするためにも次の点について今後の活用を伺う</p> <p>1、現在、通信各会社において携帯電話の電波帯を利用したWiFiによるブロードバンド接続サービスが日進月歩で進んでおり、その通信速度との比較について検討をしているのか。</p> <p>また、建設予定の無線LANの設備はさらに高速の通信体制に移行した際には既存の設備で更新ができるのか。また、それらの交換にかかるコストなどはどうなっているか。</p> <p>2、このような無線LANとして町内全域をカバーするのであれば、合わせてWiFiのフリースポットを町内の観光エリアに配置をして観光客などの利便性を図るとよいと考えるがそのような方策を取らないか。</p>
<p>3 庁舎におけるペーパーレス化のためのタブレット端末の導入について  (町 長)</p>	<p>情報化時代において職員間の情報の共有と資料のペーパーレス化に向けてタブレット端末の導入としては、ビューアに無料のアプリSideBooksを採用し、SideBooks専用のクラウド文書共有サービス「クラウド本棚」をレンタル契約。各種会議資料をサーバーにアップロードし、共有して閲覧できるような取り組みがなされている事例がある。本町においてもここまでの取り組みを一気に行うことは難しいとしても、迅速な情報のやり取りは元より、ペーパーレス化による経費削減や職員との相互情報交換のスピーディーさなどメリットは非常に高いものとするがいかがか。</p>